

常任委員会 特別委員会の動き

自治体DXの推進

豊かで暮らしやすい藤沢市へ 市民目線で変革を進める

総務

総務常任委員会は、5月24日と6月15日に開催された。

5月24日の委員会では、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

6月15日の委員会では、陳情1件を審査した。その結果、陳情は趣旨不承と決定した。また、①本市におけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の取組について報告を受けた。

本市におけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)の取組について

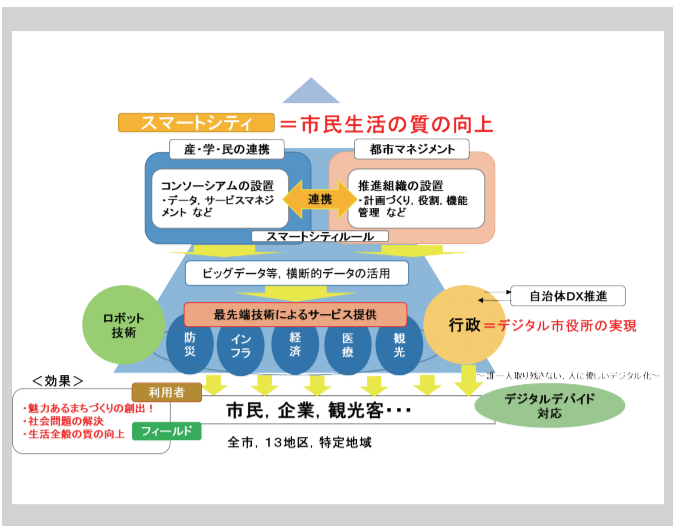
状況に対応するため、令和3年4月にデジタル推進室を新設した。市民生活の質をさらに向上させることを目的に、これまで地域で育まれてきた「コミュニティ」、官民連携など多様な主体による「パートナーシップ」、デジタル技術やAI等を活用した「テクノロジー」の3つの視点から、市民一人一人のニーズに合ったサービスを提供することで、豊かで暮らしやすい藤沢市への変革を進めていく。

デジタル市役所に向けた取組として、マイナンバーカードを用いた申請が想定される手続きや、書面・オンライン化の推進や、書面・押印・対面規制等の見直し、AI・RPA(※1)の利用推進等に取り組む。

また、スマートシティの実現に向けた取組として、本市では、藤沢SSTの存在や、さがみロボット産業特区の特性を生かした最先端技術の実証フィールドとしての取組を積み重ねてきた。こうした実績を踏まえ、市民目線による一人一人に寄り添ったサービスの提供を通じて、市民生活の質の向上を実現できるスマートシティの実現に向けた取組を進めていく。

さらに、自治体DXの推進をしていくためには、デジタル化を主導する人材が必須となるため、デジタル化戦略の構想、立案をはじめ、庁内におけるデジタル化全般を統括する立場の人材について、外部人材の登用も含め、早期配置に向けて検討していく。

また、スマートシティの実現に向けた取組として、本市では、藤沢SSTの存在や、さがみロボット産業特区の特性を生かした最先端技術の実証フィールドとしての取組を積み重ねてきた。こうした実績を踏まえ、市民目線による一人一人に寄り添ったサービスの提供を通じて、市民生活の質の向上を実現できるスマートシティの実現に向けた取組を進めていく。



現時点で想定しているスマートシティのイメージ図

国基準における待機児童ゼロ 喫緊の課題として 保育士確保に取り組み 子ども文教

子ども文教常任委員会は、6月14日に開催され、①村岡公民館等再整備事業の進捗状況②藤沢市スポーツ都市宣言(案)③待機児童の状況と今後の取組等④藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画(案)——以上4件について報告を受けた。

また、施設整備以外にも、待機児童の多い1・2歳児を対象にした年度限定保育事業を実施するなど、待機

児童の解消に取り組んできた。こうした取組の結果、3年4月の保育所等利用申込状況は、前年度と比較して、利用申込児童数が301人増加したが、入所保育児童数は124人減少し、4月1日現在で国基準による待機児童数はゼロとなり、解消に至った。

今後の取組については、まず、4年4月に向けた保育需要に対応するために、認可保育所等の設置運営法人の公募を行った。その結果、市内の4事業者から小規模保育事業の応募があり、3年4月14日に開催された藤沢市保育所等設置運営者

このほかにも、藤が岡保育園等の認可保育所の再整備や幼稚園の認定こども園への移行などにより、47人の定員拡大を見込んでいる。認定こども園は、子ども足保育士42人に増加しており、保育士の確保が喫緊かつ重要な課題となっている。

また、4月入所申込み時点で、保育士不足により定員まで受け入れできない児童数として、2年に87人(不足保育士27人)であったものが、3年では160人(不足保育士42人)に増加しており、保育士の確保が喫緊かつ重要な課題となっている。

保育需要に対応するため保育施設の再整備や有効活用等を進める



高齢者いきいき交流事業 令和4年度を目途に見直す 厚生環境

厚生環境常任委員会は、6月11日に開催され、議案4件、陳情1件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①第2期藤沢市国民健康保険健康事業実施計画(藤沢市データヘルス計画)中間評価(案)②いわゆる「ごみ屋敷対策条例」

制定に向けた検討経過と今後の取組③高齢者いきいき交流事業の見直し④大庭台墓園立体墓地再整備基本構想の最終報告⑤令和3年度国民健康保険料の料率——以上5件について報告を受けた。

このほかにも、藤が岡保育園等の認可保育所の再整備や幼稚園の認定こども園への移行などにより、47人の定員拡大を見込んでいる。認定こども園は、子ども足保育士42人に増加しており、保育士の確保が喫緊かつ重要な課題となっている。

また、4月入所申込み時点で、保育士不足により定員まで受け入れできない児童数として、2年に87人(不足保育士27人)であったものが、3年では160人(不足保育士42人)に増加しており、保育士の確保が喫緊かつ重要な課題となっている。

人権擁護委員候補者の 推薦に同意

藤沢市域の人権擁護委員の6人が、令和3年9月30日をもって任期満了となるため、候補者を推薦することについて、議会の意見を求めるもの。議会はこれに同意した。

- 藤沢市在住
・角田宗夫氏(再推薦)
- 藤沢市在住
・三雲諺子氏(再推薦)
- 藤沢市在住
・山田栄一郎氏(新規推薦)
- 藤沢市在住
・三野敦子氏(新規推薦)
- 藤沢市在住
・野村俊介氏(新規推薦)
- 鳥海早苗氏(再推薦)

(※1) RPA…Robotic Process Automation の略称。コンピューター上で行われる業務プロセスや作業を人に代わり自動化する技術。
(※2) デジタルデバイス…インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差。